

「第29回コカ・コーラ環境教育賞」募集開始

募集期間 2023年8月29日(火)～2023年10月20日(金)

活動普及部門(対象:小学生、中学生)テーマ: つくる責任・つかう責任

企画・研究推進部門(対象:高校生以上)テーマ: 容器/PET

～受賞団体を「コカ・コーラ環境ハウス体験学習会」へご招待～

公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団(所在地:東京都渋谷区、理事長:佐々木康行、以下当財団)は、環境保全・環境教育に関する顕著な活動への顕彰および環境保全・環境啓発・環境美化に寄与する新しい企画への支援をおこなう「第29回コカ・コーラ環境教育賞」(以下、本賞)を2023年8月29日(火)から10月20日(金)まで募集いたします。

本賞は1994年の賞設立以来、環境教育・環境保全活動の促進を目的に、地域に貢献するボランティア活動の助成・支援をおこなっており、2022年度まで応募団体数は全国で約2,400団体に上ります。本年度の最終選考および表彰式は、12月26日(火)、昨年度と同様にオンライン形式にて予定しています。

当財団では、2020年にコカ・コーラシステム全体として取り組むべき新たなサステナビリティ戦略(※)が策定されたことを受け、また国際社会共通の目標であるSDGs(Sustainable Development Goals/持続可能な開発目標)の推進を図るために、環境教育事業においても環境分野、特に地球環境・環境資源の領域の向上に寄与する取り組み、企画を支援することを事業方針としています。

それに伴い29回目を迎える本賞では小中学生およびその指導者を対象とした「活動普及部門」ならびに高校生以上を対象にした「企画・研究推進部門」の2部門にて助成・支援を希望する団体を募集し、優秀な活動と認められた団体を最優秀賞および優秀賞として表彰いたします。

また、最優秀賞を受賞された団体のうち2団体には文部科学大臣賞、環境大臣賞のいずれかをあわせて贈賞いたします。

副賞として、「活動普及部門」最優秀賞受賞2団体(小学生と中学生)に、各々30万円、「企画・研究推進部門」最優秀賞受賞1団体には100万円の活動助成金が贈られます。

さらに、受賞された団体には、コカ・コーラ環境ハウス(北海道夕張郡栗山町)にて実施予定の、自然豊かな環境での「体験学習会」(2024年2月23日～25日)にご招待いたします。受賞された方々が全国から一同に会し、交流を深めるとともに環境学習を体験いただきます。

※詳細は受賞団体に別途ご案内いたします。

■ 「第29回コカ・コーラ環境教育賞」概要(抜粋) * 詳細は、当財団 HP にてご確認ください。

主催： 公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団
後援： 文部科学省、環境省(予定)
協力： 読売新聞社
募集期間： 2023年8月29日(火)～10月20日(金)
募集部門： -活動普及部門(対象:小中学生およびその指導者)
-企画・研究推進部門(対象:高校生以上の学生を活動主体とする非営利団体)
テーマ：

【活動普及部門】募集テーマ:つくる責任・つかう責任

対象:①小学生およびその指導者 ②中学生およびその指導者

募集内容:コカ・コーラのサステナビリティ戦略「資源」領域の重点項目である「容器/PET」「水」「温室効果ガス排出量」「再生可能エネルギー」のうち、「容器/PET」を選択し、本年のテーマをSDGs項目『12. つくる責任・つかう責任』といたします。上記のテーマで、ご自身もしくは所属している学校や団体がその課題解決へ向けて取り組んでいる具体的な活動・実績を応募してください。

【企画・研究推進部門】募集テーマ:容器/PET

対象:高校生、高専生、大学生、大学院生およびそれら学生を活動主体とする非営利団体

募集内容:コカ・コーラのサステナビリティ戦略「資源」領域の重点項目である「容器/PET」「水」「温室効果ガス排出量」「再生可能エネルギー」を考慮し、本年のテーマを『容器/PET』といたしました。上記のテーマで、企業等が推進する取り組みの後押しに繋がるような、企画・研究を応募してください。

応募方法： 応募用紙を当財団 HP よりダウンロードし、必要事項記載の上、下記運営事務局宛にメールにてご応募ください。
財団 HP: <https://www.cocacola-zaidan.jp/environment/env-prize//>

応募先： 第29回コカ・コーラ環境教育賞運営事務局
メールアドレス: kankyo-forum2023@tokyo-ws.jp
電話番号: 03-6712-4155(平日10時～17時※土日祝・年末年始除く)

選考・表彰： 応募用紙受領後、一次選考:書類審査の上、各部門最終選考ノミネート団体を選出。
最終選考・表彰式(2023年12月26日(火)):オンラインでのプレゼンテーションを実施、最優秀賞・優秀賞・大臣賞受賞団体を決定。同日に各賞受賞団体を発表予定。
-最終選考では、各団体の活動、企画をプレゼンテーションしていただきます。詳細は最終選考ノミネート団体へ別途ご案内いたします。
-表彰式実施概要は、後日、当財団 HP にて発表いたします。

そのほか： 推薦(当財団支部および読売新聞支局)もしくは一般公募より応募。
推薦と一般公募による選考時の評価に差異はありません。

特設サイト： 本賞に関連したコンテンツを当財団 HP に今後アップしていく予定です。

【本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先】
公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団 事務局
担当:後藤佐悦子 携帯:080-8758-0899

※コカ・コーラシステムのサステナビリティへの取り組みについて

日本コカ・コーラ株式会社と全国 5 社のボトリング会社などから構成されるコカ・コーラシステムは、「世界中をうるおし、さわやかさを提供すること。前向きな変化をもたらすこと。」の事業目的にのっとり、日本が直面する重要な課題に対し、ビジネスを通じて変化をもたらしながら、未来を共創していくことに責任を持って取り組みます。2020 年には「多様性の尊重」「地域社会」「資源」の 3 つのプラットフォームと 9 つの重点課題を特定し、システム共通のサステナビリティフレームワークを策定しました。各領域において事業活動を通じて社会課題の解決を目指すことで、持続可能な開発目標 (SDGs) の達成にも貢献してまいります。詳しい活動内容については、最新の ESG レポートをご覧ください。

(参考リンク)

日本コカ・コーラ サステナビリティ公式サイト: <https://www.cocacola.co.jp/sustainability>

日本コカ・コーラ ESG レポート: <https://www.cocacola.co.jp/sustainability/esg-download>

コカ・コーラ サステナビリティ公式 Twitter: https://twitter.com/CocaColaJP_Sus



■公益財団法人 コカ・コーラ教育・環境財団 概要

- 名称: 公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団
- 英字名称: The Coca-Cola Educational & Environmental Foundation
- 許可日: 2007年6月25日(※2011年9月27日 公益財団法人へ移行)
- 理事長: 佐々木康行
- 所在地: 東京都渋谷区渋谷 4-6-3
- ホームページ: <https://www.cocacola-zaidan.jp/index.html>
- 概要: 2007年6月に37年継続していた日本コカ・コーラボトラーズ育英会と14年継続していたコカ・コーラ環境教育財団の事業を継承し、一元的に運営、推進できる母体として設立、2011年9月より公益財団法人に移行しました。心豊かでたくましい人づくり(Healthy Active Life)を理念とし、国際社会が求める青少年の育成と、彼らを取り巻く地域社会を支える人材の育成を通じ、豊かな国際社会の形成および国際親善に寄与することを目的とし、内閣府に公益認定を受け、事業を展開しています。
- 主な事業内容: 環境教育、奨学支援、復興支援を柱とした各種貢献事業の実施

■コカ・コーラシステムについて

コカ・コーラシステムは、ザ コカ・コーラ カンパニーの日本法人で、原液の供給と製品の企画開発をおこなう日本コカ・コーラと、全国 5 社のボトリング会社(コカ・コーラ ボトラーズジャパン、北海道コカ・コーラボトリング、みちのくコカ・コーラボトリング、北陸コカ・コーラボトリング、沖縄コカ・コーラボトリング)などで構成されています。コカ・コーラシステムが国内で取り扱う製品は 50 以上の炭酸飲料および非炭酸飲料ブランドにおよび、世界で最も高い評価を得ているブランドである「コカ・コーラ」をはじめ、「コカ・コーラ ゼロ」「コカ・コーラ ゼロカフェイン」「ファンタ」「スプライト」などのグローバル・ブランドの他「ジョージア」「アクエリアス」「い・ろ・は・す」「綾鷹」など、日本市場のために開発されたブランドが含まれます。コカ・コーラシステムは、持続可能な地域社会の構築を目指してたゆまぬ努力を重ねており、事業活動による環境負荷の削減、社員のための安全で開かれた職場環境の構築、事業を展開する地域社会における経済発展の促進といった取り組みに力を注いでいます。

■雨煙別(うえんべつ)小学校 コカ・コーラ環境ハウス

当財団は、北海道夕張郡栗山町とともに、同町の廃校を自然・環境 教育を中心に文化・スポーツの体験学習をおこなうことができる宿泊施設「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」として再生するプロジェクトを推進してまいりました。

2010 年 4 月にグランドオープンを迎えた同施設を拠点に、栗山町の豊かな自然環境の中で積極的な環境教育プログラムを展開し、次世代を担う青少年の育成をおこなっております。



【参考資料】 第 28 回コカ・コーラ環境教育賞(2023 年 3 月実施)

【活動普及部門(小学生) 最優秀賞・文部科学大臣賞】

■富山市立西田地方小学校 (富山県富山市)

昨年度、総合的な学習の時間の校区探検を通して西田地方の魅力や課題を見つけ、「NSDGs委員会」「西田地方にずっと住み続けたいプロジェクト」を立ち上げました。その中で、6つのゴールを設定し、昨年度は「地元商店街をもっと盛り上げる」、今年度は「校区に落ちているごみを0にする」を目指して活動に取り組みました。ごみ調査やごみ拾い活動を通して自分たちの力で校区の美化活動を進めるとともに、ごみ拾い大会やごみビンゴの計画・実施、地域のクリーン作戦への参加等、全校児童や保護者、地域の方々とも連携してごみを拾い集め、減らしていこうとしました。さらに、より多くの方に「地域のごみを減らしたい」「どんなものでも無駄にせず、大切に使ってほしい」という思いをもってもらいたいと願い、ごみや環境をテーマにした発表会や催し物を開き、多くの方に参加してもらうなど、様々な形での情報発信を進めています。

【活動普及部門(中学生) 最優秀賞】

■team 長崎シー・クリーン～世界遺産軍艦島が見える海を守ろう～ (長崎県長崎市)

世界遺産・軍艦島が見える海岸、砂浜、漁港、道路やその関連施設の美化活動を通して以下を目指すことを目的とする。

- ① 野母崎地区の海の豊さを守り続ける
- ② 環境問題への意識の醸成を図る
- ③ 軍艦島が見える海の景観を守る
- ④ 野母崎の魅力伝えて交流人口を増やす

【活動普及部門(小学生) 優秀賞】

■富山市立呉羽小学校 (富山県富山市)

【企画・研究推進部門 最優秀賞・環境大臣賞】

■大阪教育大学付属高等学校平野校舎ドリンクバー (大阪府大阪市)

本研究は高等学校でドリンクバー(ディスペンサー)を設置することで、自動販売機でペットボトルドリンクを買う必要性を無くし、ペットボトルゴミの排出量を減らすことを目的としています。ペットボトルはリサイクル出来、環境に良いという側面だけでなく、ペットボトルゴミをはじめとしたプラスチックゴミには環境への悪影響を与えているという側面もあることから私達はペットボトルゴミ(ペットボトルの使用量)そのものを減らすことが環境問題改善に有効なのではないかと考えました。そこで、マイボトルを普及させることがペットボトル削減に役立つのではないかと考えたが、BRAITA JAPAN のアンケートによるとマイボトル、水筒を持ち運んでいる量が足りなくなって追加で飲み物を購入したことがある人の割合はあるが 78.8%、ないが 21.2%であった。この結果よりペットボトル削減のためにマイボトルを普及させるだけでは意味がないという課題が明らかになりました。マイボトルを持っている人が追加でペットボトル等の飲み物を購入しなくても良いシステムを整えることでペットボトル削減につながると考え、マイボトル普及とともに、ドリンクバーを設置することでペットボトルの使用量を減らすことができるという仮説を立てました。以下の仮説を高等学校を対象に実証するため関西学院 BIZCAFE に行ったインタビューをもとにプランを作成しました。

【企画・研究推進部門 優秀賞】

■富山県立魚津工業高等学校 環境教育推進委員会 (富山県魚津市)

■大阪府立千里高等学校 ドリンクサーバー探究班 (大阪府吹田市)

